



第8号 令和7年10月24日(金)発行

敦賀気比高等学校・同附属中学校 教育相談室

メールアドレス sodan@tsurugakehi.ed.jp

すべては、なるようになっている

自分ひとりの頭の中で空想するのは、簡単なことだ。

しかし、現実の世界では身体を持っている。

身体のような欲求に応じて、身体を維持していかなければならない。

あなたが世界にひとりだとしたら、生きていくことはままならない。

世界に多くの人がいれば、補い合って生きていくことができ、ひとりの生き辛さから解放されるが、誰もが個々の身体を持ち、個々の思いや考えのもとに生きているので、互いに束縛し合い、配慮し合う必要が出てくる。

よって、世界に多くの人がいなくても、生きていくことはままならない。

どうして、ままならない？ それは、「あなた」が居るからである。

自然界には独自の循環世界があり、社会は一人ひとりの生暦、考えや立場が交錯する世界である。

それらのすべてがバランスをとった結果として、現象化された現実があるのだから、

すべてが「あなた」の思い通りにならないのは当たり前である。

すべては、なるようになっている。

私たちにできることは、日々起こり来る現象と向き合い、体感することである。

例えて言えば、綱を引くように、目の前にある綱をグッと握って引き寄せては放し、

その先にある綱をまたグッと握っては引き寄せていくようなもの…

綱を引くたびに景色が変わり、状況が異なってくる。

綱は平行して無数にある。

あみだくじのように、途中からとなりの綱に手を伸ばし握っていくこともできる。

肝心なことは、綱を握って引き寄せたら、その綱を手放すことである。

「あなた」にとって良いことも悪いことも、引き寄せた後には手放すことである。

でなければ、先に進まないではないか。

いつまでも幸せな気分、不幸な気分に浸っていては… 過去に囚われていては…

握って引き寄せては放す、握って引き寄せては放す… 生きるとは、そういうものだ。

その先、「あなた」にとってどんな出来事が待っているのかはわからない… だからいい。

だって、「あなた」にとってよくないと思えたら、もう綱を引かないでしょ？

そうやって、頭の中で、まだ来ない未来に生き、過去に留まる。

今は、何のためにあるのだろうか …



スクールカウンセリングのご案内

11月は、下記の日程でスクールカウンセリングを行います。

気持ちが少し疲れて、誰かと話をしてみたいと思う人は、担任の先生あるいは教育相談室まで申し出てください。

第1回 7日(金) 第2回 13日(木) 第3回 27日(木)

※ スクールカウンセラーの門石さんのご都合で、日程が変更になることがあります。
あらかじめご了承ください。

